

特集

いま、もう一度考える

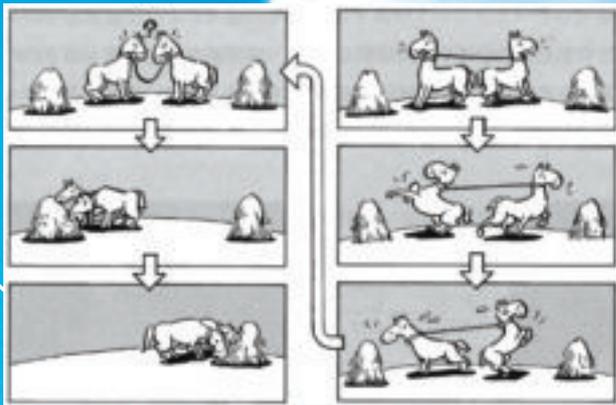
協同組合って

何だろろう？

世界全体で約十億人！

同じ目的をもった人々が集まり、お互いに助け合う組織、協同組合。現在、世界全体で約十億人もの人が農業や漁業など何らかの協同組合に参加し、活動しています。

下の絵は縄で繋がれた二頭のロバが、互いに協力することで目的を達成できたという「協同」の形を表現したものです。お互いが身勝手に振舞うのではなく、力を合わせるこの大切さを教えています。



協同組合のはじまり

協同組合の歴史は、イギリスから始まり、世界各地に広がりました。十九世紀半ば、イギリスの労働者は低賃金や生活用品価格の高騰、品質や重量を偽って儲ける悪徳商人の存在により、劣悪な生活環境におかれていました。そんな中、社会運動家のロバート・オウエンの考え方に影響を受け、織物職人二十八名がイギリスの小都市ロッチテールで協同組合を設立。これが、世界初の協同組合です。他人任せにせず自らの暮らしを協同の力で守るという考え方を元に、出資金を拠出し必要なものを調達して分け合う仕組みを確立しました。

また、イギリスよりも少し遅れて産業革命が起こったドイツの農村では、凶作や年率一〇〇%という法外の金利で資金を貸し付ける高利貸などが横行していました。こうした惨状を前に立ち上がった人物がライファイゼンです。富裕者に寄付を仰いで慈善組合を作り、困窮者に食糧の配給や貸付を行ないました。が、事業はすぐに行き詰まり経営破たん。人に頼り切るのではなく、「自助の精神」が基本でなければならぬことを悟りました。一八六二年、ライファイゼンは初めて農村信用組合を設立しました。高利貸しに対抗するために組合員相互の負債を連帯保証することで信用力を高め、金融業者からまとめてお金を借り、それを組合員同士で低利で融資する仕組みを作り、その後販売・購買事業も行なうようになりました。ライファイゼンの農村信用組合が、日本の産業組合、現在の農業協同組合の基礎になっているといわれています。



* ロバート・オウエン (1771~1858年) イギリスの社会運動家。協同組合運動の父といわれる。



*2 F.W.ライファイゼン (1818~1888年) ドイツの農村信用組合の創始に尽力した。

JA（農業協同組合）

JAとは、相互扶助の精神のもとに農家の営農と生活を守り高め、よりよい社会を築くことを目的に組織された協同組合です。この目的のために、JAは営農や生活の指導をするほか、生産資材・生活資材の共同購入や農畜産物の共同販売、貯金の受け入れ、農業生産資金や生活資金の貸し付け、農業生産や生活に必要な共同利用施設の設置、あるいは万一の場合に備える共済等の事業や活動を行なっています。

株式会社と何が違うの？

協同組合の目的はあくまでも組合員の生産と生活を守り向上させることです。経営の健全性の確保と事業の成長発展を図るために収益性は求められますが、できるだけ多くの利潤をあげてこれを株主に配当することを目指すのが目的の株式会社とは異なります。

また、株式会社はたくさん株を持っている人が力を持ちますが、協同組合は一人につき一票。一五〇年以上前に誕生した協同組合の人間平等主義の伝統が息づいているのです。協同組合は組織する組合員全員が組合の運営に参加し、全員で方針を決め、全員でこれを実践して事業を利用していきます。つまり、組合員の、組合員による、組合員のための組織、これが協同組合の基本的性格です。

JAは農協のニックネーム

JA（ジエイイー）という名前は「農業協同組合」の英語表記の頭文字をとってつけられたニックネームです。シンボルマークは緑のアルファベットのJとAを組み合わせたデザインで、どっしりとした大地と人と人のきずなをイメージしています。それまでの農業協同組合のマークは稲穂のデザインでしたが、農家以外のみならずとも一緒に地域の暮らしづくりをしていくこと、親しみやすい呼び名とマークを使うことになりました。

Japan Agricultural Cooperatives

～ジャパン
アグリカルチュラル
コーポラティブス～



正組合員・准組合員って？

JAの組合員は、農業者である「正組合員」と地域で暮らしている、または働いている人「准組合員」という2つに分かれています。JAはそもそも農業者が作った組織ですが、同じ地域で暮らす農業を応援してくれる人たちも共に利用できるように准組合員制度が導入されました。

准組合員は正組合員と違い、総代会での議決権や役員の見学権などJAの運営に関与する権利はありません。しか



北海道には一〇八の総合JA

北海道内には全道一円に一〇八(平成二十七年)の総合JA(信用・販売・購買・共済などを兼営するJA)があり、北海道の農業を支える組合員の営農や生活をサポートしています。JAさっぽろはその中の一つです。

- 北海道のJAの概要
(JA北海道中央会会員JA：平成27年度末)
- ・総合JA数 108JA
 - ・正組合員数 約6万6千人
 - ・准組合員数 約29万1千人
 - ・職員数 約1万2千人
 - ・販売支払高 約1兆円
 - ・購買品供給高 約5千億円
 - ・貯金残高 約3兆2千億円
 - ・長期共済保有高 約7兆5千億円

	協同組合	株式会社
目的	組合員の生産と生活を守り向上させる(組合員の経済的社会的地位の向上)。事業利用を通して組合員に奉仕	利潤の追求。利益金の分配を通して株主にサービス
組織している人	農業者、漁業者、森林所有者、勤労者、消費者、中小規模の事業者などの組合員	投資家、法人(株主)
運営する人	組合員とその代表者	株主の代わりに運営する経営者
運営方法	1人1票制(人間的平等による民主的運営)	1株1票制

し、JAのサービスは正組合員と同等に受けることができます。正組合員も准組合員も同じJAの仲間です。JAは農家以外の人たちにも開かれた協同組合です。

次世代を担う若い世代へ

農業の生産力を高める、農業所得を向上させる、地域の農業を発展させることがJAの重要な使命です。しかし、それだけに留まらず、JAでは広い意味での「農」、つまり農地、農村のくらしや環境、さらには私たちが日頃口にしている食べ物に関するさまざまな取り組みや事業を行なっています。日々の取り組みを通じて、次世代を担う若い世代にも「助け合いの精神」を伝えていきます。

今日までアメリカやイギリスが新自由主義グローバリズムを主導してきました。しかしアメリカ大統領選でのトランプ現象やイギリスのEU離脱など、グローバル化の否定ともいえる現象が起きています。自由競争至上主義がもたらした格差の拡大など分断された社会を立て直すために協同組合活動が果たす役割に期待を寄せる声が多く上がっています。



感

謝

山田吉雄 フミ



◆街の変化と共に

一日一日

元気に過ごせることに

感謝して一

札幌でも初雪を観測し、日に日に寒さが厳しくなってきた十月下旬。西区西野の山田さんご夫妻を訪ねた。ご主人の吉雄さんは大正十年生まれの九十五才、奥様のフミさんは大正十五年生まれの九十才という「長寿のお二人だ。」
「まだ九十五才だよ(笑)」

吉雄さんが屈託の無い笑顔でそう話せば、フミさんも横顔に「こり」と微笑む。「何事にも前向きに、楽しいことに向かって、樂觀主義者がいることが大切よ」

フミさんはいまだに自分で車を運転し、あちこちへ出かけるというから驚きだ。「もちろんゴールド免許。最近車の方が古くなってしまったのよねえ(笑)」

現在多くの住宅が立ち並ぶ「西野地区」も、かつては水田が一面に広がり「西野米」として世に知られる、札幌でも有数の米どころだった。

「私は長男だったから十才頃から農作業は手伝っていたよ。この辺りの水田は、ほんとに良い米が穫れてね」

フミさんは農家出身だったものの米作りを本格的にはじめたのは山田家に嫁いでからのこと。吉雄さんが馬を使い、フミさんは手作業での仕事が多かったという。



組合員紹介

「西野の水は冷たくて、田んぼの中も石が多かったの。今みたいに道具が無い時代だから、素手に裸足での作業でしょう。爪はぼろぼろになるし、足も血の気が引いて真っ白になったものよ。」

その後西野の農業はより安定して収入を得られる畑作へと移行していく。札幌市民への食料供給を担う要の一つとして、円山朝一などの市場では西野の農産物が多く並んだ。

「うちはイチゴも長らく作っていたわね。毎日何箱も出荷して。山田のイチゴ」といったら、ちょっと名の知れた存在だったのよ。」

稲作から畑作へ、その畑も宅地化が進むことで徐々に少なくなっていく。街の景色は大きく変わっていった。

◆地域をまとめる

山田家の玄関や居間には、フミさんがパークゴルフ大会で獲得してきたという楯やトロフィーが所狭しに飾られている。「パークゴルフを始めて二十四年。今でも色々な大会に出ているの。パークでたくさんの人とお会いできるのが本当に楽しいのよ。」

まだパークゴルフが世間に浸透していなかった頃、連合町内会の旅行で初めてその存在を知り、プレーしてみたのがそもその始まり。

「お父さんが連合町内会の会長を務めていたから、みんなで一緒にやろうって声をかけてね。最初の講習会には三十人くらい集まったのよ。」

吉雄さんは、戦後この地域の町内会を立ち上げた初代会長。西野連合町内会の会長を十年間、西野第一町内会の

会長を三十年もの間務めあげた。

「この辺りは農事組合の班長を持ち回りで担当していたね。たまたま私が班長の時に札幌市から町内会を作ってほしいと言われたんだよ。」

当時は、農家世帯とその他の一般世帯を合わせて七十軒ほど。農事組合に加入する農家世帯とは対照的に一般世帯が加入する地域の組織がなかったことから、町内会の立ち上げには多くの人が協力的だった。当初、会長は年長者がやるものと思っていた吉雄さんだが、周りから背中を押される形で会長に就任したという。

「声をかけたら、皆やろうやろうと言ってくれて、月五十円の会費を集めて活動をはじめたんだよ。」

◆西野の発展のために

札幌市の働きかけて続々と各地区に発足した町内会。当時の西野地区は、道路は砂利道、上下水道もなし、街灯もないなど、まだまだ街の整備が行き届いていなかった。

「街を守るのが今の町内会だとしたら、当時は町内会が街を作る時代。街の整備も市と協力して町内会が一から行なっ



▲パークゴルフのトロフィーの数々。フミさんに誘われてはじめた娘さんもパークの虜なのだとか。



▲今までに発行された町内会便りは全て大切に保管している。

ていたんだよ。あの時やらなきゃ西野の発展はなかった」

吉雄さんが何か提案すると周りが賛同して動きだす。他の地区にうらやましがられるほどだったと振り返るこの地区の取り組みは、現在も脈々と受け継がれている。

毎月全世帯に配布しているという『西野第二町内会だより』。町内の情報を詳細に記載した新聞は毎月欠かさずに発行し、十月現在、四六六号を数える。また、八月に行なわれる町内の運動会は、どの学校の運動会よりも盛大なイベントの一つだと吉雄さんは胸を張った。

「他の地区に負けたくない、トップクラスの地区にしたかった。みんなが団結すればどんなことでもできる力がこの地区にはあった」

吉雄さんが先頭に立ち、フミさんがそれを支える。事務的なことはフミさんの仕事で、町内会だよりの配布は、吉雄さんが会長を退いた後も合わせると四十年間続けたという影の功労者だ。

「会長の話がお父さんに来たときに、やっていけるの？って聞いたら、やるさって。私は最初知らん顔してたけど、だんだん無視できなくなってきたね。やるなら完

壁に、中途半端はいけないもの」

◆今日一日に感謝

現在、西野第一町内会には二千三百世帯が加入し、発足当時から比喩物にならないほど大きな町内会に成長した。今も吉雄さんは名誉会長として、積極的に行事に参加している。

「名誉会長だなんてよしてくれって言ったんだけどね。そういわれたら下手なことではできないでしょ(笑)」

取材中、吉雄さんが西野の歴史や農業について教えているという小学校の児童が偶然自宅を訪ねてきた。吉雄さんへのお礼の手紙を携えての突撃訪問はよくあることだそう。満面の笑みで迎える姿が実に印象的だった。

「頼まれたらやる、気付いたらやる。今日もこうしてみんなで話しをして楽しく過ごせただけありがたい。感謝してまた明日を迎えたいね。」

そして十一月、吉雄さんの元に吉報が届いた。毎年文化の日に行なわれる秋の叙勲で、地方自治において長年にわたる顕著な功績を収めたとして旭日単光章の受章が決まったという。思わぬ栄誉に、吉雄さんは感慨深い喜びを語った。

「戦時中に四年間兵役について、生きて帰ってこられた。それを思えば、何をやるにも苦にならなかつた。このような栄誉をいただくことになるとは、本当にありがたい限りです」

お忙しいところ、取材にご協力くださいました山田さん、ありがとうございました。
(二〇一六・十一月 取材)



10月25日(火)～
札幌伝統野菜「札幌大球」

特大キャベツ「札幌大球」今年もできました！

平成26年度から清田区・南区の生産者の方々にご協力いただき、栽培を復活させた札幌伝統野菜の大玉キャベツ「札幌大球」。両手で抱えるほどの大きさが特徴で、重さは普通のキャベツの10倍以上にもなります。収穫時期を迎え、今年は約2,000個を収穫しました。多雨などの影響で昨年に比べると収量が少なく、サイズも小さめですが、肉厚で甘味があり、とてもおいしく仕上がりました。収穫された「札幌大球」は、ニシン漬け用に加工業者に出荷されるほか、道内の飲食店でも使用されます。



▲収穫した「札幌大球」は一つひとつ重さを計ります。10kg超えもめずらしくありません。



▶職員も参加し収穫はすべて手作業。今年は小さめとはいえ、重い！！



11月2日(水)
札幌伝統野菜「札幌白ゴボウ」

札幌伝統野菜「札幌白ゴボウ」 小学生が給食で「いただきます〜す!!」

清田区の実産者によって栽培され、9月下旬から11月上旬に収穫時期を迎える札幌伝統野菜「札幌白ゴボウ」は、清田区の小中学校の給食で使用されています。そのうちの1校、平岡公園小学校では、「札幌白ゴボウ」の豊かな香りと歯ごたえの良さを活かしてゴボウピラフが献立に並びました。同小学校では、その日の給食に使われた地元産の野菜を収穫するまでの過程や生産者の声を紹介するなど、食育に力を入れています。栄養教諭の三谷純子先生は、「給食は一人分に必要な量を考慮しているので、配膳の段階で盛りきるように児童に伝えています。給食に使われる野菜ができるまでの苦勞を児童にも理解してもらいたいです」と話していました。「ゴボウがシャキシャキしておいしかった！」と児童も大満足の献立となりました。

▶嫌いな野菜はないの？と聞くと「なーい!!!」と嬉しい返事が。



▲この日の献立は札幌白ゴボウピラフ、フライドチキン、コマツナサラダに牛乳。





11月2日(水)
JAさっぽろ青年部

札幌農業と伝統野菜を学ぶ講演会

JAさっぽろ青年部（近藤克宜部長）では、部員 38 名と職員 14 名が参加し、ジャスマックプラザホテルにて講演会を開催しました。講演会は青年部員の知識や見聞を広げることを目的として、毎年様々な分野から講師を招き開催しています。今年度は、前札幌市農政部長で現在は JFE エンジニアリング株式会社の北海道支店顧問、三部英二氏をお招きして「北国の伝統野菜とこれからの札幌農業」をテーマに講演していただきました。札幌農業の歴史や現在の状況の他、札幌伝統野菜の持つ意味や札幌農業の未来につながるヒントを学ぶことができ、営農の有無に関わらずとても興味深い内容でした。講演終了後には三部氏にもご参加いただき懇親会を開催。講演会の内容を掘り下げた話を交えながら、支部の垣根を越えて互いに親睦を深め、有意義な時間を過ごしました。



▼講師を務めていただいた
JFE エンジニアリング株式
会社北海道支店顧問の三部
英二氏。



10月4日(火)
女性部豊平支部

美味しいランチと工場見学に大満足

女性部豊平支部（中向道子支部長）では、部員 20 名が参加し千歳・支笈湖方面への日帰り旅行を実施しました。当日は天候にも恵まれ、しこつ湖鶴雅リゾートスパ「水の調」にてランチビュッフェを堪能し、千歳ワイナリーや岩塚製菓の工場見学を行ないました。各工場では買い物を楽しむこともでき、たくさんのお土産を手で大満足で帰路に着きました。（池田特派員）



10月12日(水)
北札幌支店年金友の会

景色で、食事で、秋満喫

北札幌支店年金友の会（山本博会長）では、会員 24 名が参加し 2 泊 3 日で道南・函館・登別への研修旅行を実施しました。前日まで札幌で降っていた雨も、晴れ男・晴れ女の皆さんのおかげで止み、当日は天候に恵まれました。今回、大沼国定公園では秋風の心地良さや木々の色づきを感じ、新函館北斗駅では、札幌までの延伸開業を線路の先に臨み、五稜郭や函館山を観光しました。最終日には、登別伊達時代村の忍者ショーを童心に返って楽しみました。湯の川温泉、登別温泉で宿泊し、食事は新鮮な海産物を中心とした秋の味覚を目と舌で存分に味わった旅となりました。（福井特派員）





10月3日(月)～10月5日(水)
資産管理部会西町支部

雄大な自然と美しい景色に感動!

資産管理部会西町支部(岩村利雄支部長)では、部員26名が参加し道東・阿寒・知床方面へ2泊3日の親睦研修旅行を実施しました。初日は層雲峡流星の滝や北見市山の水族館、網走監獄を観光。2日目は廃校の小学校を利用した、ほがじゃ小清水北陽工場の見学後、知床に向かいました。台風18号の影響で、オホーツクの海は、真冬の大シケ。波が道路まで達していましたが、知床の観光船には残念ながら乗船できませんでしたが、その後の摩周湖は快晴で遊覧船を楽しむことができました。最終日は、丹頂鶴自然公園や釧路の広大な湿原を一望できる展望台で360度見渡せる地平線を堪能し、釧路和商市場で新鮮な海鮮を楽しみ、帰路に着きました。(小林特派員)



▶ほがじゃ小清水北陽工場では地元のでんぶんを使ったお菓子を製造しています。



10月10日(月)～10月13日(木)
琴似・発寒クローバー会、
女性部琴似支部

観光を楽しみ、名湯に癒される

琴似・発寒クローバー会(石川秋夫会長・山根正雄会長)、女性部琴似支部(佐藤京子支部長)では、南東北、関東地方へ合同研修旅行を実施しました。道中は天候にも恵まれ、会津、日光、富岡製糸場などを見学し、鬼怒川、草津の湯でゆったりと疲れを癒しました。夜の宴会では、カラオケで大いに盛り上がるなど楽しい時間を過ごし、最終日にはたくさんのお土産を抱え、皆さん笑顔で帰路に着きました。(室松特派員)



10月11日(火)
北野農事実行組合

吉幾三ワールドに酔いしれる

北野農事実行組合(堀合英喬組合長)では、組合員26名が参加し親睦会を開催しました。ニトリ文化ホールでは吉幾三コンサートを鑑賞。代表曲「酒よ」「酔歌」「雪国」「津軽平野」を始めとする人情溢れる歌声と、抜群のトークセンスに魅了されました。吉幾三ワールド全開のエンターテイメントショーをたっぷり楽しんだ後は、北菓楼札幌本店でお土産を買い、アサヒビール園のロイン亭へ。夕食をとりながら更に親睦を深め、終始笑顔で親睦会を終えることができました。(藤澤特派員)





10月11日(火)
資産管理部会厚別支部

一目で複数の施設を視察 実りある研修会

資産管理部会厚別支部（小林義昭支部長）では、会員 20 名が参加し日帰り視察研修会を開催しました。江別ヤンマーアグリソリューションセンターでは、新旧ヤンマー製トラクターなどの展示品、ジョンディア製トラクターの組立工場を見学し、トラクターの大きさと一台当りの価格が、戸建住宅二軒分との説明を聞き驚きました。余市ニッカウヰスキー蒸溜所では、竹鶴政孝の精神を受け継ぎ手間を惜しまず、今なお「石炭直火蒸溜」でウイスキーを作る蒸溜棟等を見学。試飲会場で特別な一杯を堪能しほろ酔い気分となりました。ホクレン小樽種子工場では、概ね海外で生産される飼料作物種子の「原料保管管理」、「品質検査」、「精選加工」の作業場を見学し、種子工場の役割・重要性についての説明に耳を傾けました。帰礼後はアサヒビール園で職員を交えた恒例の懇親会を行ない、会員・職員相互の親睦を図りました。（田村特派員）



10月13日(木)～10月14日(金)
篠路支店年金友の会

食べて、観て、ゆっくり温泉癒し旅

篠路支店年金友の会（中西俊一会長）では、会員 13 名が参加し登別方面への温泉湯治旅行を実施しました。二日間とも快晴に恵まれ、初日は苫小牧にてシーズン真っ盛りのホッキ丼を堪能。その後王子製紙工場にて大規模な印刷機械・出版用紙の製造を見学しました。夜は、室蘭方面に向かい、今話題のスポット、室蘭工場夜景&白鳥大橋をクルーザーでナイトクルージング。ちょうど夕暮れ時に重なり、船上からの夕日と白鳥大橋のライトアップがとても綺麗でした。他にも地球岬や三階滝公園、千歳ワイナリーなども見学し、行楽の秋を楽しみました。（北村特派員）



10月16日(日)
～10月19日(水)
中央支店イーグル会

1府5県周遊で総移動距離1,200キロ！ 山陰山陽地方を満喫！

中央支店イーグル会（目黒晴夫会長）では、会員 14 名の参加により毎年恒例の親睦旅行を実施しました。今回の旅行は山陰・山陽地方への旅行ということで、岡山県、広島県、山口県、島根県、鳥取県、京都府を 3 泊 4 日でグルッとめぐり、バスの総移動距離が約 1,200 キロにもなる旅行でした。厳島神社や出雲大社、鳥取砂丘、秋芳洞、萩・津和野、足立美術館、天橋立等紹介しきれないほどの観光地をめぐり、どれも本当に素晴らしい感動的で、大満足の親睦旅行となりました。（伊藤特派員）



虹のひろば

JAさっぽろの様々な部会活動の様子をご紹介します

JAさっぽろ女性大学

Lカレッジ

第3期 第5回講座

「秋野菜を使った お料理セミナー」

かきざね
垣實 敬介 先生

～Lady (女性) が Link (つながり) を持って Life (生活) について Liberty (自由) に Learn (学ぶ) ところ～

10月18日(火)、Lカレッジ第5回講座では、講師に料理研究家
の垣實敬介さんをお招きし、秋野菜を使った料理教室を行ないました。

今回のメニューは「チキンと野菜のヘルシー豆乳シチュー」、豆や
野菜をふんだんに使ったアメリカの国民食「チリコンカン」、「自家製
和風レモンドレッシングと季節のグリーンサラダ」の3品。

かきざね
垣實先生は、普段の料理にも使えるさまざまな調理法を伝授。中
でも、冷たい鍋に食材を入れてから熱する「コールドスタート」という
調理法には、受講生から驚きの声があがりました。中火で蒸し煮にす
ることで食材の味が引き立ちます。また、シチューの鶏肉は、先に炒
めず後で加えることでとても柔らかく仕上がりました。毎日料理をし
ているベテランの皆さんでも目からウロコの情報がたくさん!「私だ
け食べるにはもったいないので、家族にも作ってあげたい」ととても
好評でした。



▲先生の華麗な手さばきに目が釘付け!



▲受講生の皆さんの手際の良さはさすが!
役割分担も完璧です。



▲バケットを添えて完成～!みんなで美味しくいただきました。

かきざね
垣實 敬介 先生 <料理研究家>

北海道知事公認「北海道らしい食づくり名人」、
北海道フードマイスター。16歳から寿司屋にて
修行し、国内のみならず、海外へも渡航し料理研
究を重ねる。北海道食材を使用したスロー・フー
ド・ロハスな食事の提供を続けている。



次世代へ資産継承するために

施主 山田 政幸様（平岸支店組合員）



オステリア
デラカーサ



カーサ・
デ・ヴィータ
（命の家）



〈施設の概要〉

敷地全体面積	1,879㎡
構造	木造、2階建 (枠組壁工法)
施設名	オステリア デラカーサ
種類	店舗併用住宅
敷地	194.35㎡
延床面積	116.3㎡
施設名	カーサ・ デ・ヴィータ
種類	高齢者施設
敷地	691.13㎡
延床面積	420.45㎡

かつてリンゴ栽培が盛んだった平岸地区で、イタリア料理店と福祉事業を営んでいる山田様にお話を伺いました。

JAの施設建設事業を利用した経緯

父が他界し財産を引継いだときに相続する事の大変さを痛感したこともあり、次世代にどのように資産を残したら良いかを考えていました。また、自身が経営し25年目を迎えたイタリア料理店のリニューアルと妻が経営する福祉事業の新たな取組みとして高齢者施設の建設について、JA担当者に相談したのがきっかけです。

りんご園のあった場所にイタリア料理店

実家のリンゴ栽培も忙しかったので、最盛期には家族揃って食事する機会があまりありませんでした。そのような環境に育ったせいか、自ら調理する事も多く手間暇を惜みず「出来たての料理を食べたい」というこだわりを小さい頃からもっていました。

イタリア料理店などで約10年間の修業と経験を積み重ね、生まれ育ったりんご園のあった場所に“家庭的な手作り料理を誰でも楽しく食事のできる店”の思いを込めてイタリア料理店「オステリア デラカーサ」を平成4年にオープンしました。今では、親子3世代で来店するお客様もいるなど連日多くのお客様で賑わっています。

寄り添って“介”かばい守って“護”を信念に会社運営

レストラン経営も安定したので、妻が以前から関心をもっていた福祉・介護事業所を平成18年に開業し、現在では㈱ジョイアとして訪問介護、居宅介護支援、デイサービスなどの総合福祉支援を行なっています。今回の事業については、レストラン横にある遊休地を利用し「大きな家族」をテーマに入居者がくつろぎとやすらぎを感じることでできる場所としてシニアホーム「カーサ・デ・ヴィータ（命の家）」を建築しました。

完成した建物の感想について

建築制限等の規制が厳しい地区なので、レストランのリニューアルには苦労しました。JA担当者や建築業者との綿密な協議の結果、お店の顔となる看板や店内の配色、設備等大変満足する仕上がりとなりました。また、シニアホームは広々とした共有スペースから桜の木が見えるよう窓の大きさや配置を工夫したことにより、暖かさの中に癒しの空間が生まれ、入居者にも満足いただける施設が完成したと思っています。

お忙しい中取材に応じていただきました山田様、誠にありがとうございました。

JA さっぽろでは、組合員の皆さま一人ひとりのご希望に合わせた資産活用の計画について資産管理事業を通じて、相談・提案・サポートを行なっております。詳しくは、お近くの各支店不動産プラザまでお問い合わせください。



平成28年度 年末年始業務体制のご案内

	12/30 (金)	12/31 (土)	1/1 (日)	1/2 (月)	1/3 (火)	1/4 (水)	1/5 (木)	1/6 (金)
本店 (ローンプラザ除く) 経済センター	通常営業	休業	休業	休業	休業	休業	休業	通常営業
金融共済窓口	通常営業	休業	休業	休業	休業	通常営業	通常営業	通常営業
ローンプラザ	通常営業	休業	休業	休業	休業	休業	休業	通常営業
厚別支店相談課	通常営業	休業	休業	休業	休業	通常営業	通常営業	通常営業
ATM	稼働	休業	休業	休業	休業	稼働	稼働	稼働
札幌厚生病院 ATM	休業	休業	休業	休業	休業	稼働	稼働	稼働



理事会により

◆第七回定例理事会

平成二十八年十月二十八日(金)午後一時より本店役員会議室において第七回定例理事会が開催された。

●委員会等報告事項

- 一、金融・共済委員会
- 二、経済・相談委員会
- 三、総務・企画委員会

●仮決算報告

- 一、平成二十八年度上半期仮決算実績報告
- 二、第三次中期経営計画平成二十八年度本店行動計画の仮決算総括について

●協議事項

一、地区別懇談会資料について

平成二十八年十一月十四日から開催する地区別懇談会用資料の内容について説明され、可決決定。

二、第十九回通常総代会の開催日時等について

第十九回通常総代会を平成二十九年六月三十日(金)共済ビル六階共済ホール(札幌市中央区北四条西二丁目)で開催することが説明され、可決決定。

三、『資産査定規程』の一部改正について

自己査定における一般査定、簡易査定等の判断基準となる債権額の変更による改正である事が説明され、可決決定。

●報告事項

- 一、内部監査結果報告
- 二、平成二十八年度上期苦情・事故等の発生状況について
- 三、コンプライアンス事故の発生状況につ

いて
四、平成二十八年度コンプライアンス・プログラムの取り組み状況について(上期)

五、反社会的勢力排除対応管理先状況報告

六、平成二十八年度上半期余裕金運用実績報告

七、平成二十八年度第三四半期余裕金等運用計画額および運用方針について

八、総合的なリスク量の報告について

九、リスクの量的管理報告

十、利益相反取引(包括事前承認)の経過報告について

十一、利益相反取引(融資)の実行報告について

十二、平成二十八年度九月末貸出金に係る信用集中リスク報告

十三、平成二十八年度上半期の子会社等に対する信用供与等額の実績報告

十四、平成二十八年度JA共済コンプライアンス点検結果報告

十五、九月末組合員加入・脱退状況

十六、十月の動静と十一月の予定について

十七、札幌協同振興(株)の平成二十八年度上半期実績報告

十八、月寒中央ビル売却に係る経過報告
(閉会：午後四時九分)

JAさっぽろDATA

(平成28年10月末業務実績) (平成28年9月末業務実績)

組合員数	正組合員	3,897名	正組合員	3,895名
	准組合員	29,453名	准組合員	29,361名
	合計	33,350名	合計	33,256名
出資金残高	52億2千4百万円		52億7百万円	
販売取扱高	17億2千1百万円		13億8千1百万円	
購買供給高	6億6千8百万円		6億円	
貯金残高	2,934億9千2百万円		2,892億6千7百万円	
融資残高	900億5千6百万円		901億1千3百万円	
共済保有高	6,086億2千1百万円		6,096億1千7百万円	
施設建設取扱高	3億4千8百万円		3億1百万円	
管理受託戸数	4,101戸		4,105戸	

※ 出資金残高については、処分未済持分を控除した額です。

おくやみ

下記の正組合員の方が逝去されました。謹んでご冥福をお祈りいたします。

支店名	氏名	享年	月日
西町	鷹坂真砂男さん	88才	11/13
厚別	藤元 虎男さん	95才	8/18
	林 昇さん	89才	10/23
	北山 昇さん	83才	11/3
北札幌	加藤 孝治さん	84才	11/3

第2回 JAバンク北海道 窓口セールスコンクール 石狩地区予選開催



10月12日(水)、北農ビルにて第2回JAバンク北海道窓口セールスコンクール石狩地区予選が開催されました。この予選会には石狩管内5JAの窓口担当者が参加し、全16名の参加者の内、6名が札幌支所管内(石狩、日胆、後志、道南)の本選に選出、さらにその中から4名が全道大会に選出されることとなります。

当JAからも8名の窓口担当者が参加。日頃の窓口セールスの力を発揮し、誰が選ばれてもおかしくない状況の中、5名が札幌支所管内本選に選出されました。今回選出された5名は、全道大会出場を目標にさらなるレベルアップを図り、次の本選に臨みます。

今年もたくさんのご声援、ありがとうございました!



JAさっぽろ野球部—平成28年度結果報告—

今年度の活動を終え、皆さまに結果報告をさせていただきます。今シーズンも多くのご声援をいただきましたこと、部員を代表してお礼申し上げます。

当野球部は「JA大会全道優勝」を目標に掲げ、1月下旬より室内練習を開始、4月上旬からは滝野グラウンドにて毎週土曜・日曜・祝日と練習に取り組んできました。たくさんの方々のご声援を受け、選手一同、精一杯力を尽くしましたが、今年は残念ながら目標達成とはならず悔しい結果に終わりました。

来シーズンでは皆さまのご期待に応えられるよう、引き続き練習に励んでまいりたいと思いますので、今後とも応援よろしくお祈りいたします。 JAさっぽろ野球部 監督 齊藤 竜太

大会名	試合結果
A級選手権	○【準決勝】 11-1 札幌市消防局
	×【決勝】 3-8 札幌市役所
国体札幌予選	×【準決勝】 0-1 Ep さっぽろ
天皇杯札幌予選	×【1回戦】 0-2 Ep さっぽろ
JA石狩管内 野球大会	○【1回戦】 7-0 JA新篠津
	×【準決勝】 1-2 JA北いしかり
北海道知事杯 札幌予選	○【1回戦】 2-0 赤十字血液センター
	○【準決勝】 10-3 北海道ガス
	×【決勝】 3-8 Ep さっぽろ
練習試合	○ 3-1 日高町役場
	○ 13-2 占冠村役場
	○ 7-2 余市ロータスクラブ
	× 0-5 石狩市役所
	○ 2-0 石狩市役所
	○ 8-2 JB日本血液製剤機構
	× 1-4 神出設計
	○ 2-1 神出設計
	△ 4-4 JAいわみざわ
	○ 5-2 JA道央
× 3-4 JA北いしかり	
通算	11勝8敗1分

お詫びと訂正

本誌11月号の中で、記載内容に誤りがございましたので訂正してお詫び申し上げます。

P7 「アラカルト」 JAさっぽろ玉葱部会 (誤) 亀田浩一さん (正) 亀田浩市さん

あなたの自慢 教えてください



豊平地区 竹田 武さん 「野鳥の写真」

◀春先に円山動物園で撮影した「クマガウ」。親鳥がヒナにエサを与える瞬間を収めた貴重な一枚。



▲▶7月に撮影した「ヤマセミ」。水の中にダイブして鮮やかにエサを取る瞬間がぬらいめ。



▶10月に撮影した「ムギマキ」。春と秋のみ姿を見せる珍しい鳥で、竹田さんも20年ぶりに撮影成功!

長年続けている写真。今年もカメラ機材一式をトラックに積んで色々な野鳥の撮影に出かけました。カメラ仲間と情報交換をしながらめずらしい野鳥がいるとわかれば何日も通って撮影に挑みます。撮影現場には貴重な一枚を収めようと全国から人が集まります。カメラ好きとしては、そこでたくさんさんの撮影機材を見られるのも楽しみの一つです。

タイトルは、きゅうりやトマトなどに一般的に殺菌剤で使われている「ジマンダイセン」をアレンジしたものです。

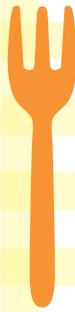


広報で取材に出かけるようになってから、時々運転するようになりました。今年で二年目。それまで十年近くパーパードライバーで、ただの身分証明書になっていた運転免許証は当然ゴールド。このゴールドに傷が付くことはあつてはならないと、運転を控えた日はちょっとだけ憂鬱です。

先日、今年最後になるであろう運転で南区まで出かけました。雪が降ったり解けたりが続いていた時期で雪道は嫌だなあと心配していたのですが、ちょうどその日は晴れて路面も乾いていました。そういえば札幌大球収穫を取材した時も晴れたし、なんだか今年はそういうことが多かったような…。天気を味方に付け、今年もゴールドの輝きを守ることができました。冬の間は取材も減ることから、運転はしばしお休み。また来年頑張ります。

さて、早いもので今年も終わりに近づいてきました。今年も一年、たいへんお世話になりました。ご家族揃って、良いお年をお迎えください。

(平)



女性部篠路支部特製 たまねぎドレッシング

たまねぎは細かくすることで細胞を壊し、空気に触れ時間を置くことで酵素が働き、血液をサラサラにする成分ができます！

たまねぎを水にさらすと辛味が抜けますが、この成分を無くしてしまいます。また、加熱する時は切ってから最低 15 分以上置くことで成分が保たれます。

極上ドレッシング編



●材料 (2人分)

たまねぎ…………… 1 玉 塩…………… 小さじ 1 杯
サラダ油…………… 75cc 酢…………… 75cc
砂糖…………… 大さじ 1 杯半 酒…………… 50cc
みりん…………… 50cc しょうゆ…………… 50cc

●作り方

たまねぎを薄くスライスして 15 分以上置いてから全部の材料を広口のビンに入れ混ぜ合わせ、時々ビンを逆さまにして 1 晩置いて出来上がり！

中味をかき混ぜながらサラダ等にかけてお召し上がりください。

※ ごま油やオイスターソース、カレー粉を混ぜたりしてアレンジしてみてください！

至高の万能だれ編



●材料 (2人分)

たまねぎ1/2 玉(100g) しょうゆ…………… 140cc
りんご 2/3 個 (180g) 酢…………… 大さじ 2 杯
にんにく…………… 小 2 砂糖…………… 小さじ 4 杯
しょうが…………… 小 2

●作り方

たまねぎ・りんご・にんにく・しょうがをすりおろし、よく混ぜ保存容器に移す。3 日目以降が食べ頃です！

お肉・野菜・豆腐などによく合いますよ。

オリジナル
レシピ大募集！

あなたの手料理のレシピを広報誌にのせませんか？
お近くの支店または本店広報課までお気軽にお声かけください。